

都市調査実習

発表課題③：研究レビュー

<課題意図>

全分野において、事象の論理的思考・構造分析・批判的考察が重要である。つまり対象・問題・要望を構成する重要要素の組成と関連事項を把握し、既存の成果を発展させる展開を考える能力が重要である。これはすなわち企画力・デザイン力そのものである。

<課題内容>

今回まで自身で定めたテーマについて、自身の考えを優先した方法で深掘りを行ってきました。これはとても重要な経験です。さらに内容を高度化するには「先人に学ぶ・集合知に学ぶ」という方法があり得ます。そこで、テーマに関する研究(事例)レビューを行いましょう。今回は独自の方法ではなく、学術的な作法を学び行って貰います。

今回は内容を高度化させるための土壌作り（内容には直結しなくとも強度が高まる）として行いますが、何よりも最初に今回の内容を行うことの方が多いです。論文で言えば「1. はじめに」、提案で言えば「提案の背景と意図」を書く準備と言えます。

課題の流れ

- ① **テーマ決定**：今回までに行ってきたことから決定する
- ② **社会背景の調査**：実社会における現状・課題・要請を把握する。
- ③ **既往研究の調査**：既往研究(成果)を調査し、研究目的・調査目的・調査内容・分析結果・考察をレビューし、批判的考察を行う。

課題要件

- 既往論文 5 編以上のレビューを A4 用紙にまとめる。1 編 A4 で 1 枚が目安
- 誰か、どのような研究目的で研究を行っているのか。どのような調査目的で、どのような調査を行ったのか。調査のどのような分析から、どのような考察を行っているのかを論文毎に記述。
- レビューした論文の批判的考察を記述する。発展させるための方法等
- レビュー論文も pdf で提出。紙媒体の物はスキャンする。

提出物

①レビュー ②レビューした論文 ③発表用のスライド

① ～③の pdf, ①～③の印刷物

発表は 1 人 6 分目安 発表するレビュー数は任意

書式

- ① 表紙：題名と学生番号・名前、レビューした論文一覧を記載する。
- ② レビュー：タイトル 著者 キーワード 内容説明 批判的考察を記述する。
- ③ スライド：印刷物は 1 枚 4 スライドで一覧印刷

提出日：11 月 23 日の 14 時 40 分まで

論文を探す方法

■CiNii という論文検索サイトが便利
立命の rainbow-ID で利用が可能（本来有料なので学内からでないと思われたいと思います）
興味のあるキーワードで検索するのが基本だが、学問を問わず検索されるので関係のないものをヒットしやすい。（それが面白く発想を広げる事もあります）



The screenshot shows the CiNii search interface. At the top, there are tabs for '論文検索' (Article Search), '著者検索' (Author Search), and '全文検索' (Full Text Search). Below these is a search bar with the placeholder text 'フリーワード' and a '検索' (Search) button. Under the search bar, there are three buttons: 'すべて' (All), 'CiNiiに本文あり' (Full text available in CiNii), and 'CiNiiに本文あり・連携サービスへのリンクあり' (Full text available in CiNii・Link to linked service). To the right of these buttons is a link icon and the text '開じる' (Open). Below the search bar, there are several input fields for advanced search: 'タイトル' (Title), '著者名' (Author Name), '著者ID' (Author ID), '著者所属' (Author Affiliation), '刊行物名' (Publication Name), 'ISSN' (ISSN), '巻号ページ' (Volume/Issue/Page), '出版者' (Publisher), '参考文献' (References), and '出版年' (Publication Year) with '年から' (From) and '年まで' (Until) options.

詳細検索で出版社を指定すると建築都市に関わる物が見つかりやすい
例：日本建築学会 都市計画学会

さらに絞りたい場合は刊行物名を指定する。
例：日本建築学会計画系論文集 日本建築学会技術報告集 都市計画論文集

日本建築学会の論文の位置付け

- ・日本建築学会計画系論文集
「論文として」確かな研究が数多く掲載されている。
論文の書き方、分析方法等について参考になる。

- ・日本建築学会技術報告集
新しい技術と事実の報告に関する研究が掲載されている。
考察・論述しているかと問われると疑問符が付く物もあるが、参考になる

- ・大会梗概集
「論文として」は疑問符の付く物もあるが、それは梗概集という事情から。
新しい研究や、論文にははならなくても実用的な研究、単純に興味深い研究等が見つかる事もある。

■CiNii でも見れますが、図書館・研究主で上記の論文集を探し、直接見た方が早い場合もあります。
非常にたくさん置かれているので、タイトル一覧を見て興味の持てる論文を見つける等。
論文集は研建築情報・認知研究室にもあります。

■一つ興味のある論文が見つかったら
論文中に最後に引用文献・参考文献が書いてあります。そこから次を探してみましょう。
また、著者の名前で探すのも有効です。
いまいちピンと来ない。。。と言う人は授業後に相談に来てください。